大阪毎日新聞

力瘤の入れ甲斐もなく 案外無事に解散

藤永田氏議批判の演說會

友愛會主催藤永田勞働爭議批判大演說會は十三日午後六時天王寺公會堂に於て開催され會員は十數會員以外の者は二十錢の入場料を徵集したが定刻前は入場者早くも三千名にして場內立錐の餘地なく聽衆は戶外にも溢山の如く定刻には戶外は堅く閉されたが場外の聽衆は立去らないで資本家橫惡の高ちかに呼ばつて居た

定刻に至つて開會の辭は野田立遠氏次いで廣田久遠、山口大市、中村由明、豐田現吉、小川林造、小國兒市諸氏交々立つて熱辯を揮ひ此の間藤永田造船工第二十支部小野造船工十八名は組合旗を先頭に勞働歌を合唱して入場し次いで堂島、大矢、大野、安藝安村、上野の各辯士の演說があつて賀川豐彥氏登壇

國家交渉權に就て列國の例を引き我官憲壓迫を難詰し拍手裡に降壇したが

此時場の一隅から宣傳ビラを撒布した者あり一ト騷ぎがあつたが直靜粛に返り九時半頃高山義三、笠木良治の兩氏は自働車を驅つて來場し先づ高山氏登壇

治安警察十七條に就て幾多の例を引き最も明記に且つ面白く講じて

友愛會の木村鎌藏氏、高山義三氏と會見、更に鈴木文治氏、協調會の武藤氏其他を加へて深更迄會見は續けられたが妥協點を發見するに至らず同夜十二時に至り全部引揚げたが同部長は十四日も引續き關係者と會見する筈である

五箇條の大毎歎願書

住友電線製造所職工の要求

住友伸銅所、同鑄鋼所、同電線製造所の三工場の職工代表者が十二日夜市內西區靱中通四丁目共益社に會合した結果所謂三角同盟は纏らず西隣恩貨島なる電線製造所職工のみが十二日午前九時左の歎願書を提出した

一、團體交渉權を確認されたき事
一、日給三十錢增給されたき事
一、奬勵加給歩合は最低十割と確定されたき事
但し絕對に撤廢せざる事
一、解雇手當は左の通り支給されたき事
(イ)六箇月以上一年未滿の勤續者には日給五十日分、一箇年以上十五箇年未滿の勤續者には一箇月を增す毎に七日分を加ふる事十五年以上は十日分を加ふる事但一層入當日より起算する事
(ロ)會社の都合により解雇したる場合は前項の二倍を支給されたき事
一、會社の都合により解雇したる場合は左の通りの歸國旅費を支給されたき事
獨身者には三十四、家族あるものには五十四

然うして右要求に對する回答期は本月十五日午前十時迄、目下の處至極平穩に就業して居るが住友鑄鋼所はコレに倣ふべき形勢がある

藤沼部長奔走

十四日も關係者と會見の筈

藤永田と職工と兩者の妥協につき奔走中の藤沼警察部長は十三日も引續き關係者を官舍に招致して懇談を重ね、